

## 日本がん登録協議会第30回学術集会のご案内

**田淵 健** JACR理事／第30回学術集会大会長

東京都立駒込病院



2020年は新型コロナウイルス感染症に明け暮れた1年であり、他の多くの学術集会同様、当協議会の第29回学術集会も急遽WEB開催に変更となりましたが、大会長大木いずみ先生の巧みな手腕により成功裏に終わりました。2021年に入っても終息の兆しは見られないため、第30回学術集会は当初よりWEB開催として企画します。

WEB化によって、移動によるコストや時間が節約され、情報収集のアクセスも容易となります。WEB会議システムはまだ対面による面談には及ばない面もありますが、それを越えるような利点がたくさんあります。

このような危機的状況では、医療者自身は直接的な対応に従事することが必要ですが、この様な時こそ、がん罹患や生存に対する影響を監視することは必須であり、その基盤となるがん登録事業の継続が不可欠です。デジタルトランスフォーメーションDXは新型コロナウイルス感染症によって加速しています。技術によって、目前の困難を克服することが可能になると信じています。

第30回学術集会は、様々な技術的な要素が、がん登録の完全性や質の向上に寄与していることに注目しました。題して「がん登録を支える技術」です。現場実務者からの声や患者様の声、データ利活用の一つの大切な方向性として、「希少がん、小児・AYA世代のがん」についても焦点を当てます。

今後、がん登録のデータに触れてみたいという人たちに向けて、「レジストリをデータサイエンスの視点から捉え直す」という観点から、レジストリに関係のある仕事をしている人たちにもご登壇いただき、共に考えるきっかけとなればと思います。

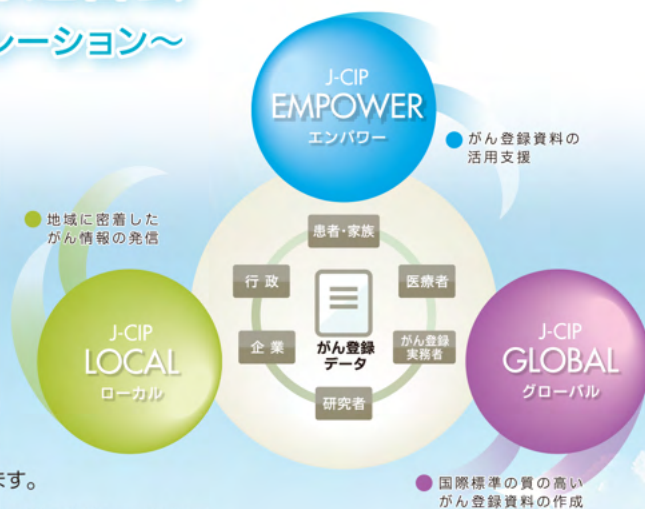
今回、主催を担当する都立駒込病院は、142年前の明治12年、大流行していたコレラ感染症対策のために急遽建造されたバラック病院が起源です。本学術集会は奇運な状況下での開催となります。どうかふるってご参加下さい。学会ホームページは、<http://jacr.umin.jp/> (予定)です。

## JACR×全国がん患者団体連合会

～がん登録関係者とがん患者のコラボレーション～



例えば、ローカル部門では、「がん患者らと協同で製作した、がん患者が本当に欲しいがん情報を発信するサイト」を提供しています。現在、青森、群馬、神奈川、大阪、愛媛版が公開され、今後他都道府県に普及させていきます。支援が必要な都道府県はJACRに是非ご相談ください!



J-CIP公式サイト <http://jacr.info/j-cip/>